

平成 17 年（2005 年）6 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（2 日目）

平成 17 年 6 月 9 日（木）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	与 儀 清 春 (清政クラブ)	市街地街路整備と新都心とのシャトルバス計画について	新都心は 12 年に及ぶ事業が完了し、那覇市の人口が 31 万人へと増加の要因ともなった 引き続き、那覇市の課題、中心市街地活性化に欠かせない街路整備や新都心とのアクセスについて伺う (1) 工事中の 新都心牧志線・ 牧志壺屋線の進捗状況について、 都市計画決定に向け進行中の開南大通りの街路整備について (2) 新都心牧志線の歩道整備、街路樹及び電線地中化等どうなっているか (3) 新都心と市街地間のシャトルバス運行等について ペロタクシーや電気自動車等クリーンエネルギーを使った乗り物が市街地に適した乗り物として導入や計画がなされている 電気自動車などのシャトルバスの運行計画について、また、市長の掲げる新型路面電車・L R T 導入について大いに期待するものである。構想を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	宮 城 宜 子 (日本共産党)	福祉行政について	(１) 母子福祉、就労支援・相談体制について 一人親家庭の自立を進めるために、母子自立支援員が設置された。就労のための相談、斡旋及び情報提供を行い、確実に就労につなげていく活動を実施していきたいとの答弁であったが、相談、斡旋及び就労の件数など現状と課題を問う (２) 母子家庭への那覇市独自の小口緊急貸付制度の創設について再度問う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	山 川 典 二 (市民の会)	1 不発弾処理 について	本土復帰後（1972 年）32 年間で沖縄県内の不発弾は 26,340 件、1,425 トンが最終処理されたことが沖縄県の調査で判明した。しかし、いまだ 2,500 トンの不発弾が埋没し、今後、年間 25 トンが処理されとしても（ここ数年約 25 トン / 年の処理実績）100 年の年月を要する。戦後 60 年「沖縄戦」の実態が風化しつつある中、思いきった抜本的な打開策が必要だと考えるが、そこで、那覇市内における下記の点について当局の見解を問う (1) 過去の不発弾処理の件数、トン数、費用は幾らか (2) 未処理の不発弾は何トンか (3) 不発弾の発見から処理までの一連の作業状況、詳述を求む (4) 不発弾処理に関する業者は何社か (5) 過去の事故の内容 (6) 今後の対策
		2 道路行政に について	全国各地のガードレールから鋭利な金属片が見つかった問題で質問する (1) 本市の現状と対策 (2) 原因は何か

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 教育行政について	2010 年全国高校総体（インターハイ）競技種目別会場が 5 月 25 日決定した 那覇市ではバレーボールやテニスなど 6 種目の開催が決まっている (1) 全国高校総体に対する本市の取り組み (2) 5 年後の全国高校総体をどう捉え、どう教育現場に取り込んでいくのか伺う (3) 翁長市政のテーマである「市民との協働」で、全国高校総体をどのように位置づけていくのか問う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	国 吉 真 徳 (社 社 ク ラ ブ)	1 基地及び平和行政について 2 少子化対策について 3 都市計画行政について	(1) アメリカでは世界規模の戦略構想の中で米軍基地の再編が進められている。在沖米軍基地もその対象になっている。県民の基地の負担軽減を図る為にも大幅な整理縮小が強く求められる。市長の見解を問う (2) 昨今の東南アジア情勢、とりわけ日本と北朝鮮、中国、韓国との間に緊迫した摩擦が起こっている。市長の見解を伺う 国は少子化対策の基本的な方針として(次世代育成支援対策)下記の項目に取り組んでいる。項目別に説明を願う。本市の取り組みについても問う (1) 仕事と子育ての両立のための雇用環境の整備 (2) 安心して子供を産み、ゆとりを持って健やかに育てるための家庭や地域の環境づくり (3) 利用者の多様な需要に対応した保育サービスの整備 (4) 子供が夢を持って伸び伸びと生活できる教育の推進 (5) 子育てを支援する住宅の普及など生活環境の整備 真嘉比古島第二土地区画整理事業の促進について 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	島 尻 安伊子 (民主クラブ)	1 戦後 60 年記念事業について	那覇市としての取り組みを伺う
		2 乳幼児医療費助成制度について	そのシステムについての見直しを提案したいが見解を伺う
		3 放課後チューター制度について	(1) 「NARAE ネット」のその後の取り組みについて伺う (2) 放課後チューター制度の実施に向けての当局の見解を伺う
		4 統合医療について	那覇市としても積極的に関わり、取り組むべきものであると考えるが当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	当 真 嗣 州 (日本共産党)	1 平和憲法について	憲法 9 条について
		2 都市計画について	市道石嶺線の道路拡幅工事について (1) サンキュースーパー前交差点は現在、直進・右折・左折・歩行横断も自由にできるところである。ところが、道路の拡幅工事のため中央分離帯が設置され、これまでのような直進・右折・横断ができなく左折だけになり、日常生活が大変不便である。このような整備のあり方は問題ではないか、当局の見解を求める (2) これまで同様の利便性を確保するために、信号機を設置して中央分離帯をなくすことが求められていると思うが当局の答弁を求める
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 城 春 吉 (清政クラブ)	雇用問題について	国内経済はゆるやかに回復基調にあるとはいえ、業績悪化で、企業の統廃合や倒産・リストラで雇用情勢はいまだに厳しい状況にある 総務省が発表した今年 4 月現在全国の完全失業率は 4.4%で、失業者は 310 万人である また、本県でも県が公表した調査によると、完全失業率は 7.3%で失業者は 4 万 7,000 人である。特に、若年失業者が全国と同様に高く、深刻な状況である。このような観点から本市における実態はどうなっているか 次の 7 点について関係当局に伺う (1) 本市に住む障害者手帳保持者の人数と就業状況について (2) 市役所所管機関での身障者の雇用について (3) 身体障害者雇用促進法に基づく本市における現在の事業者数と雇用の実態について (4) 今後の身体障害者の雇用対策について (5) 本市における完全失業者及び求職希望者の実態について (6) 那覇市企業立地促進奨励助成金の状況、実績、そして今後の姿勢、展望及び方向性について (7) 本市所管内で働く非常勤・臨時職員の人数と待機者の状況について
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	崎 山 嗣 幸 (社 社 ク ラ ブ)	1 雇用対策について 2 環境行政について	団塊世代が定年時代を迎え、若年者雇用が改善の傾向にあるといわれている これは、県内主要企業の約 6 割が来年の新規採用を「増やす」と、マスコミでも紹介されている しかし、その一方で、フリーターの期間が長期化、固定化したまま中高年になった人が増えており、正規と非正規雇用の二極化と格差、拡大が進んでいる こうした雇用環境を受けて、次のことについて伺う (1) 那覇市の若年者雇用など、2007 年問題の具体的な対応策を伺う (2) フリーターのまま中高年になっていく数が 200 万人を超えるとのことであり、那覇市の実情はどうなっているか伺う さらに、経済成長や少子化に与える影響はどのように及ぼすか伺う (3) フリーター、非常勤職員が増えながら、身分保障、待遇改善がはかどらないのは何に起因していると考えるか伺う (4) 那覇市の非常勤職員の報酬と雇用止めの実態を伺う 天久の旧海岸線に位置する坂中（フィラナカ）樋川は、がじゅまるの巨木の根元から湧き水の流れる拝所である そこに油が流失し、悪臭とゴミが散乱し、不衛生極まりない状況となっている。蚊、犬、ネコなどが媒体となって、病原菌の発生源となりかねない 那覇市自然環境の保全、快適な生活環境の観点から、次のことについて伺う (1) 現場の油の流出、不衛生な実態は認識しているか伺う (2) 対応策はどう考えているのか伺う

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 道路行政について	那覇市の道路に歩道がなくて、安心して歩けない箇所が随所にある 特に、繁多川交差点から工業高校前を通る路線は歩道がなくて危険な状況にある 子供たちやお年寄り、障害者がとても安心して歩ける道路ではない。身の危険を感じながら歩いている市民の声が出ている 解決策に向けて次のことについて伺う (1) この路線は水道局から繁多川交差点までの歩道の整備はされているが、この先から工業高校前までの松川線は放置されている なぜか伺う (2) 都市計画での街路事業の考え方はないか伺う (3) 那覇市全域で、このような危険な地帯はどの程度あるのか、路線ごとに説明を求める
		4 障害者施策について	在宅重度障害者への家事補助、身体介護等の日常生活の世話を行うホームヘルパーの派遣事業は、障害者をサポートし、自立させる重要な施策の一つである そこで、那覇市の障害者プランに基づくホームヘルパー派遣事業の実績と内容を伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 17 年 6 月 9 日(木)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	知 念 博 (清政クラブ)	1 障害者の雇用について	本市における障害者雇用状況について伺う (1) 「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、法定雇用率に相当する数以上の身体障害者又は知的障害者を雇用しなければならないが、それに相当する民間企業、特殊法人等、国・地方公共団体、教育委員会の数はいくらで、雇用状況と達成状況をそれぞれ伺う (2) 本市の市長部局、市立病院、教育委員会、上下水道局、消防本部における障害者雇用状況と達成状況を伺う (3) 未達成の企業や団体等の達成率向上をはかる為、どのように取り組んでいるのか伺う (4) 本市における授産施設等の状況を伺う 当局の支援状況はどうなっているのか、運営における問題・課題は何なのか、今後の取り組みを伺う
		2 福祉行政について	(社)那覇市身体障害者福祉協会では、これまで 65 歳以上の方も含めて障害者の為のデイサービスを実施していたが、4 月からは、65 歳以上の方が参加したくとも、できないような状況になっている (社)那覇身協の実施するデイサービスは、障害者の心身の状況をきちんと把握し、きめ細かいサービスを実施しているということで、大変好評を得ており、65 歳以上の方々も(社)那覇身協のデイサービスに参加したいと考えている。 (社)那覇身協では、古島的那覇市障害者福祉センターの敷地内にプレハブを建て、65 歳以上の方のためのデイサービスを開設したいとの考えがあるが当局の取り組みについて伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

